

# 「命をつなぐ人々」救急隊員との 忘れられないエピソード

2024 救急の日特別企画

Vol.7

投稿者：ゆきえさん

## 大雪の日、3歳の子どものが・・・

長男が6歳1ヶ月、二男が3歳11ヶ月、長女が生後1ヶ月の時でした。お風呂あがりの体を拭いてあげている時に突然目を開いたまま倒れた二男。こわばりがあり、ひきつけを起こしたと瞬時に判断しました。

救急要請をするも、その年は大雪で救急車の到着に通常時の倍以上かかりました。

そして、みるみるうちに唇が紫になり、呼吸が止まったのが分かりました。

到着した救急隊員の方に生後1ヶ月の娘を抱いたまま、状況を説明し、救急車に運び込まれるも、インフルエンザの流行時期とも重なってか受け入れしてくれる医療機関が見つからず、隣の市まで搬送されることになりました。



イメージ写真：大雪と救急車



写真：3人のお子さん  
ゆきえさん 提供

泣きながら、娘を抱いて見守るしかできなかった私に、救急隊員の方が「大丈夫ですよ」と声をかけて下さり、ずっと安心することが出来ました。

救急救命講習を受けていてもいざというときにやはり、落ち着いて行動出来なかったと思い、応急手当普及員の講習も受け、今年は更新に行きます。

痙攣の多くは乳児期に起こすものだとおもっていたため、本当に生きた心地がしませんでした。

医療機関まで、安全に運んで頂いた救急隊員の皆様には本当に感謝しています。  
私のヒーローです。